



# 奈良県経済の概況

一部に弱さもみられるものの、緩やかに持ち直しの動きが広がっている

**個人消費** ▶▶▶ 百貨店・スーパー販売額は前年同月比 2 か月ぶりの減少

**住宅着工** ▶▶▶ 新設住宅着工戸数は前年同月比 5 か月ぶりの減少

**公共投資** ▶▶▶ 県公共事業契約済額は前年同月比 5 か月連続の減少

**雇用情勢** ▶▶▶ 有効求人倍率は前月比 0.01 ポイント低下の 1.39 倍

**企業倒産** ▶▶▶ 倒産件数は 2 か月連続の一桁台

**生産活動** ▶▶▶ 鉱工業生産指数は前月比 2 か月ぶりの上昇

## 1

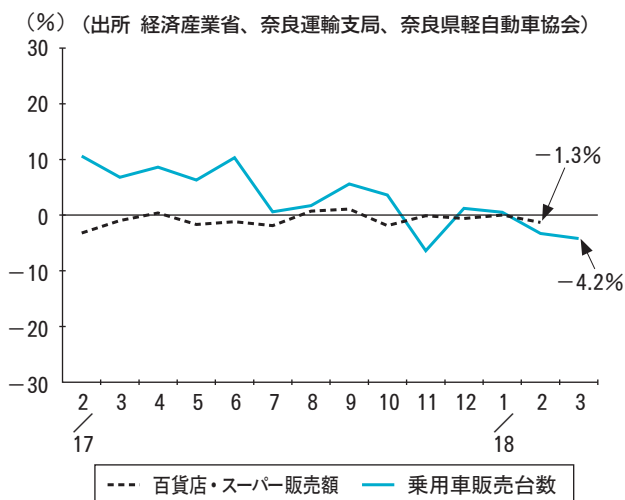
### 個人消費

#### 百貨店・スーパー販売額は前年同月比 2 か月ぶりの減少

2月の百貨店・スーパー販売額（全店ベース、速報）は、前年同月比 1.3%減の 166 億 41 百万円で、2 か月ぶりの減少。衣料品は同 5.2%減、飲食料品は同 0.5%減となった。なお、既存店ベースでは同 0.6%増と 4 か月連続の増加。

3月の乗用車販売台数（普通+小型+軽）は前年同月比 4.2%減の 5,818 台と、2 か月連続の減少。車種別にみると、普通乗用車は同 1.8%増の 2,184 台と 3 か月ぶりの増加、小型乗用車は同 18.2%減の 1,545 台と 6 か月連続の減少。軽乗用車は同 2.3%増の 2,089 台と 7 か月連続の増加となった。

百貨店・スーパー販売額、乗用車販売台数（前年同月比）



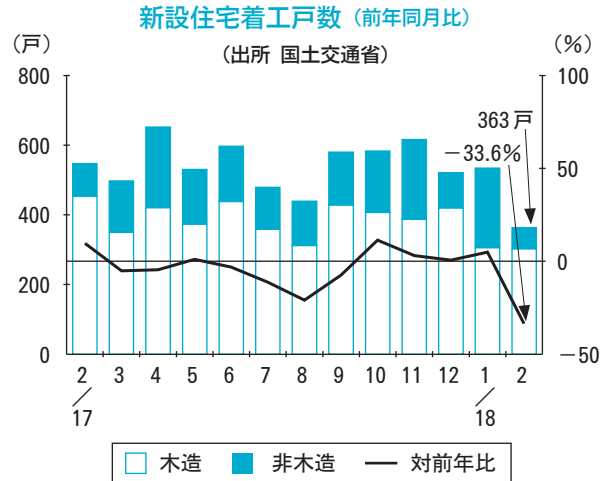
## 2

### 住宅着工

#### 新設住宅着工戸数は前年同月比5か月ぶりの減少

2月の新設住宅着工戸数は、前年同月比33.6%減少し363戸。持家、貸家、分譲住宅がすべて減少した。全体では5か月ぶりの減少。

利用関係別にみると、持家は前年同月比9.3%減の206戸と5か月ぶりの減少、貸家は同63.7%減の41戸と2か月ぶりの減少、分譲住宅は同44.0%減の116戸と2か月連続の減少となった。



## 3

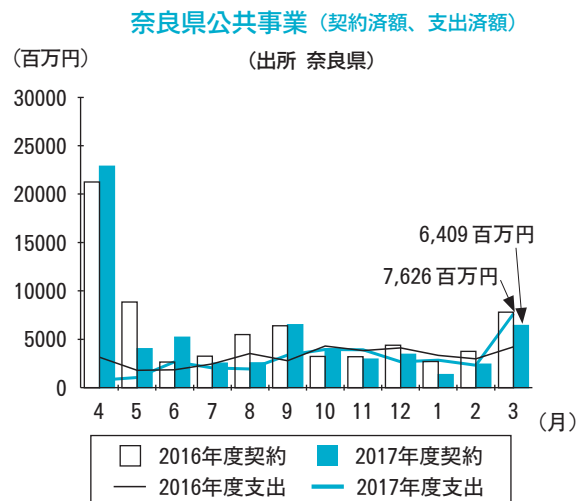
### 公共投資

#### 県公共事業契約済額は前年同月比5か月連続の減少

3月の奈良県の公共事業等事業施行状況は、契約済額が前年同月比17.7%減の64億9百万円と5か月連続の減少、支出済額は同81.4%増の76億26百万円と4か月ぶりの増加となった。

次に、西日本建設業保証の保証取り扱いから3月の公共工事請負金額の動向をみると、全体では前年同月比23.3%減の66億99百万円と5か月連続の減少。

発注者別にみると、国は39億36百万円（前年同月比172.5%増）、独立行政法人等は26百万円（同91.6%減）、県は主要地方道枚方大和郡山線中町工区（仮称）石木2号橋上部工事などにより17億37百万円（同65.3%減）、市町村は9億96百万円（同40.5%減）、その他の公共的団体は3百万円（同98.9%減）となった。



# 4

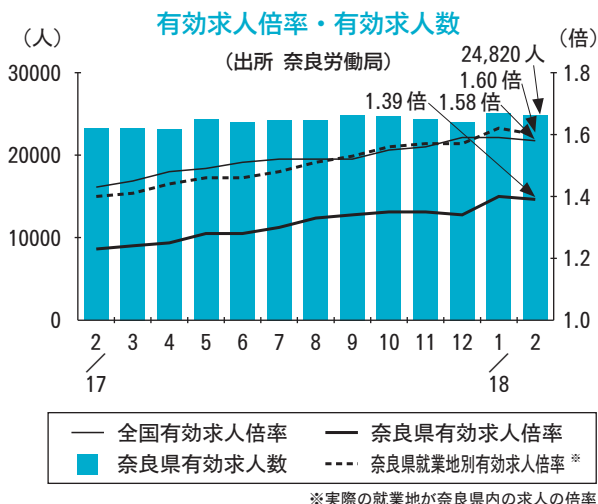
## 雇用情勢

有効求人倍率は前月比 0.01 ポイント低下の 1.39 倍

2月の雇用情勢をみると、求人数は、新規求人数（季調値）が前年同月比 3.9%増の 8,915 人と 4 か月連続の増加、前月比は 1.3%増。有効求人数（同）は前年同月比 6.0%増の 24,820 人と 34 か月連続の増加、前月比は 0.8%減。

一方、求職者数は、新規求職者数（季調値）が前年同月比 4.5%減の 4,311 人と 10 か月連続の減少、前月比は 3.9%増。有効求職者数（同）は前年同月比 6.4%減の 17,807 人と 26 か月連続の減少、前月比は 0.3%減。また、雇用保険受給者の実人員数は前年同月比 3.1%減の 3,594 人と 24 か月連続の減少。

以上により、新規求人倍率（季調値）は 2.07 倍（前年同月比 0.17 ポイント上昇、前月比 0.05 ポイント低下）となった。有効求人倍率（同）は 1.39 倍（前年同月比 0.16 ポイント上昇、前月比



0.01 ポイント低下) となった。なお、就業地別有効求人倍率は 1.60 倍（前年同月比 0.20 ポイント上昇、前月比 0.02 ポイント低下）であった。

# 5

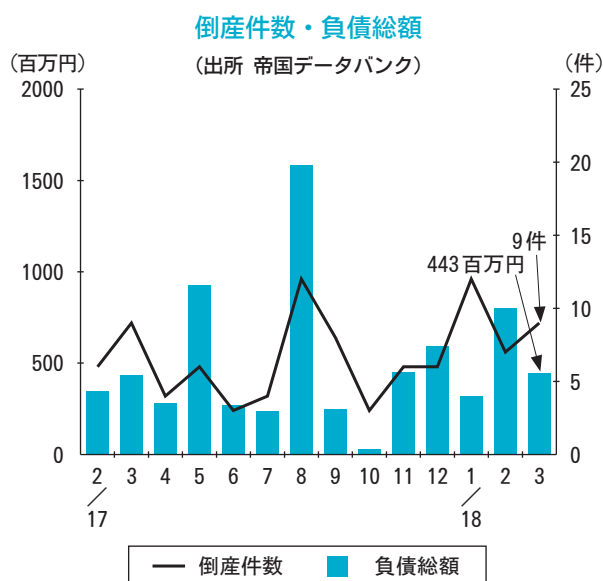
## 企業倒産

倒産件数は 2 か月連続の一桁台

3月の倒産状況をみると、件数は前年同月と横ばいの 9 件となり、2 か月連続の一桁台。負債総額は同 1.4%増の 4 億 43 百万円と 3 か月連続の増加となった。

負債額別では、1,000 万円～5,000 万円未満が 6 件、5,000 万円～1 億円未満が 2 件、1 億円～5 億円未満が 1 件となった。

従業員別では、0～4 人が 8 件、5～19 人が 1 件であった。要因別では、競争の激化や消費動向の停滞などを背景とした販売不振が 8 件、経営者の病気・死亡が 1 件であった。業種別では、小売業、サービス業、不動産業が各 2 件、建設業、製造業、運輸・通信業が各 1 件であった。倒産形態では、全てが自己破産であった。



# 6

## 生産活動

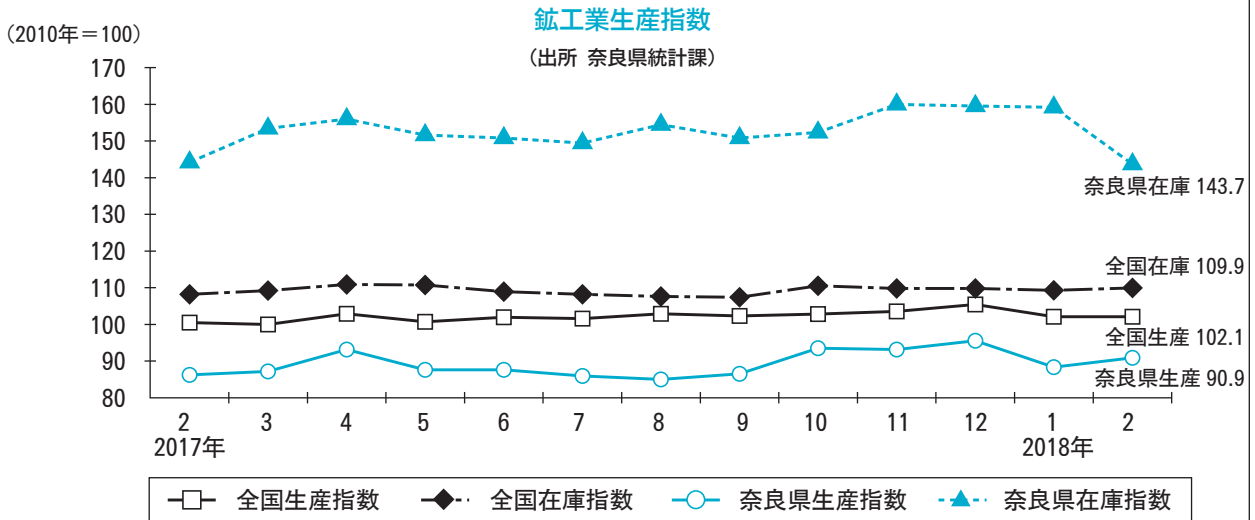
### 鉱工業生産指数は前月比2か月ぶりの上昇

2月の鉱工業生産指数（季調値、速報値）は、前月比2.9%上昇の90.9となり、2か月ぶりの上昇。原指数は前年同月比5.2%上昇の89.3となり、5か月連続の上昇。在庫指数（季調値、速報値）は、前月比9.7%低下の143.7となり、3か月連続の低下となった。

業種別生産指数の動きを見ると、金属製品工業、その他製品工業、プラスチック製品工業等の10

業種が前月比上昇し、化学工業、食料品・たばこ工業、印刷業等の7業種が低下。

100.0を超える水準にあるのは、印刷業（178.3）、その他製品工業（164.1）、パルプ・紙・紙加工品工業（124.9）、金属製品工業（123.7）、化学工業（118.2）、輸送機械工業（112.0）の6業種となり前月比1業種増加した。



### 奈良県鉱工業生産指数、在庫指数の業種別の動き（2月）

(注) 生産系列の総合指数（季節調整済指数）で上昇・低下に寄与した業種の順番で掲載している。前月比、前年同月比は（%）

業 種 名	生 産		在 庫				
	季節調整済指数	原 指 数	季節調整済指数	原 指 数			
	前月比	指 数	前月比	指 数			
上	金 属 製 品	29.3	123.7	35.0	108.3	17.8	
	そ の 他 製 品	13.4	164.1	45.2	x	x	
	プ ラ ス チ ッ ク 製 品	7.3	91.0	5.5	▲9.7	81.0	▲1.9
	輸 送 機 械	3.8	112.0	2.4	—	—	—
	パ ル プ ・ 紙 ・ 紙 加 工 品	6.7	124.9	▲3.1	▲32.3	167.9	▲14.0
	皮 革 製 品	46.8	70.6	39.9	2.9	107.2	2.7
	木 材 ・ 木 製 品	3.7	94.6	17.3	▲1.4	122.6	1.1
昇	非 鉄 金 属	4.4	76.2	▲10.9	4.9	93.3	8.8
	繊 維 工 業	1.0	77.4	▲8.8	▲19.7	116.5	13.5
	鉄 鋼 工 業	1.9	87.4	▲7.8	0.4	140.1	4.7
低	化 学 工 業	▲14.8	118.2	0.3	▲8.2	115.7	6.6
	食 料 品 ・ た ば こ	▲5.5	92.5	▲5.9	▲1.7	112.9	▲5.3
	印 刷 業	▲10.4	178.3	19.8	—	—	—
	電 気 機 械	▲41.1	3.3	▲58.7	16.1	3.6	▲50.0
下	一 般 機 械	▲0.4	97.2	10.3	▲12.2	165.6	▲30.4
	窯 業 ・ 土 石 製 品	▲6.0	72.6	▲21.5	2.1	34.4	▲11.6
	ゴ ム 製 品	▲0.7	70.1	▲2.5	▲4.6	106.1	5.4

(注) x：対象企業が少いため公表されていない。